

令和5年度和名ヶ谷中学校 1 学期学習の指針（シラバス）

教 科	社 会	学 年	1 年
-----	-----	-----	-----

1 学習の目的

- ◆現在の日本と世界の生活や環境、宗教分布などの比較を通して、さまざまな違いを理解することで、“多様性”を認める基礎を養う。
- ◆地図や世界各地の様子を示した写真、地理的な各種統計資料の読み取りを通して、どこに、どのようなものが、どのように広がっているのか自分の考えをまとめ、考えを共有する表現力の向上を目指す。
- ◆現在、社会にあふれている様々な情報の中から、地理的な出来事に関する情報を効果的に調べまとめる技能を高める。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	〈地理的分野〉 1 編 世界と日本の姿 1 章 世界の姿 2 章 日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を広い視野で捉え理解する。 ・世界の中での日本の位置や世界各地との時差、領域の範囲などの特色を基に、日本の地域構成を広い視野で捉え理解する。 ・地図から、日本が他国に対して、比較的広い領海や排他的経済水域を有している理由を考察する。
	2 編 世界の さまざまな地域 1 章 世界各地の 人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地における人々の生活の特色や生活の移り変わりを基に、世界の人々の生活や環境の多様性を世界の主な宗教分布とも関連付けて理解する。 ・世界各地における人々の生活や生活の移り変わりの理由を、その生活が営まれる場所の自然や社会的な条件などに着目して、色々な立場や視点から考察し表現する。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に出てきた重要語句や教科書の太字部分の意味を理解している。 ・世界各地の写真や宗教分布などの統計資料、地球儀などの読み取りを通して、様々な地理的な事象をその根拠を基に解答することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業やインターネットでの調べ学習などを通して得た知識を、自分の中にかみ砕き、自分の言葉としてわかりやす 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・ワークシート

	<p>く他者に説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的な出来事に対して、自分の考えを持つことに加え、意見共有の時間を活用して、様々な意見に触れることでより良い社会を実現するために何が必要なのかを判断しワークシートにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ・プレゼンテーション
<p>学びに向かう姿勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習の中で「わかったこと」「考えたこと」「調べてみたいこと」を毎授業まとめ、特に「調べてみたいこと」について自ら書籍やインターネットなどを利用し、教養を深めようとしている。 ・ワークシートの穴埋めを行うだけではなく、教員が話をした内容や他者との意見共有の際に、新しく得た知識や考えをメモとして残すなど、意欲的に授業に参加しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する意欲 ・Social Study Log ・ワークシート ・ワークの取り組み

4 使用する副読本

題名	出版社
学習整理 地理 1	学宝社

令和5年度和名ヶ谷中学校 1学期学習の指針（シラバス）

教 科	社会	学 年	2年
-----	----	-----	----

1 学習の目的

- ◆地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。
- ◆日本の地域的特色において、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などについて理解するとともに、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追及する。
- ◆日本の諸地域における①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通や通信、⑤その他の事象について、それぞれの特色を理解するとともに、各地域が抱える課題について探求する。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	（地理的分野） 地形図の読み取り方①	・地形図について、縮尺、方位、等高線、地図記号などに着目して、地域の土地利用や地形を把握する力を身に付ける。
	2章 日本の地域的特色と地域区分 1. 地形から見た日本の特色 2. 気候から見た日本の特色 3. 自然災害と防災・減災への取り組み 4. 人口から見た日本の特色 5. 資源・エネルギーから見た日本の特色 6. 産業から見た日本の特色 7. 交通・通信から見た日本の特色 8. 日本を地域区分しよう	1. 日本の地形の特色と地域によるちがいについて理解する。 2. 日本の気候の特色と地域によるちがいについて理解する。 3. 日本の自然災害や防災の取り組みについて理解する。 4. 日本の人口分布や構成の特色や変化について理解する。 5. 日本が必要な資源やエネルギーを確保する方法を理解する。 6. 日本の農林水産業および商工業の特色や変化について理解する。 7. 日本の交通・通信網の発達や結びつきについて理解する。 8. 日本の地域区分について理解する。
	3章 日本の諸地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方 3節 近畿地方	1節：九州地方の特色を理解するとともに、この地方で自然環境の影響を受けながらも、産業や生活・文化が発達したことについて探求する。 2節：中国地方の特色を理解するとともに、この地方で、交通・通信網が重要な役割を果たしてきたことについて探求する。 3節：近畿地方の特色を理解するとともに、この地方で、都市や農村の姿が変化してきたことについて探求する。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に出てきた重要語句の意味を理解している。 ・写真や統計資料などの読み取りを通して、様々な社会的な事象をその根拠を基に解答することができる。 ・縮尺、方位、等高線、地図記号など地形図の基本的な読み取り方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元末テスト ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の諸地域におけるそれぞれ①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通や通信、⑤その他の事象について、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、そこから見えてくる課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元末テスト ・ワークシートの記述 ・単元ごとの課題
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習ノートに主体的かつ計画的に取り組んでいる。 ・日々の学習の中で「わかったこと」「考えたこと」「調べてみたいこと」を毎授業まとめ、特に「調べてみたいこと」について自ら調べ学習を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加態度 ・ワークシートの記述 ・授業の振り返り ・自主学習ノートへの取り組み

4 使用する副読本

題名	出版社
学習整理2（地理）	学宝社

令和5年度和名ヶ谷中学校 1学期学習の指針（シラバス）

教 科	社会	学 年	3年
-----	----	-----	----

1 学習の目的

- ◆歴史分野においては、近世の日本を大観して時代の特色を多面的・多角的に考察する。
- ◆よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及。解決しようとする態度を身につける。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	歴史的分野 第6章 「二度の世界大戦と日本」 1節 「第一次世界大戦と日本」 2節 「大正デモクラシーの時代」 3節 「世界恐慌と日本の中国侵略」 4節 「第二次世界大戦と日本」 第7章 「現代の日本と私たち」 1節 「戦後日本の出発」	<ul style="list-style-type: none"> ● 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢と大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解し、表現する。 ● 我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解し、表現する。 ● 経済的世界的な混乱と社会的問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解し、表現する。 ● 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解し、表現する。 ● 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことを理解し、表現する。 ● 高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の進展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解し、表現する。

	<p>2節 「冷戦と日本の発展」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二次世界大戦後の諸改革により、新しい日本が建設されたことを理解する。
	<p>3節 「新たな時代の日本と世界」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の国際社会への復帰や、その後の国際社会での活動が、冷戦など国際情勢の影響を受けて行われたことを理解し、表現する。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重要語句の意味や歴史の流れを理解している。 ・ 時代ごとの特色や課題を理解している。近世の日本について、なにがきっかけで社会が変革し、支配体制が変化したかを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 小テストなど
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各小单元において、特色に着目して他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に表現している。 ・ 近世の日本を大観し、時代の特色を多面的・多角的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ ワークシート（ノート） ・ グループワーク ・ プレゼンテーション
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の学習の中から、「特に調べてみたいこと」について自ら書籍やインターネットなどを利用し、教養を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に対する意欲 ・ 調べてみたことレポート ・ ワークシート（ノート） ・ 地理・歴史のワーク

4 使用する副読本

題名	出版社
学習整理 歴史 つながる歴史	学宝社 浜島書店